埼玉県議会議員

井上わたるの県政報告

配るホームページ 第65号

39歳 無所属

発行元 連絡先　埼玉県議会議員 井上わたる事務所
（埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部）
〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡503号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail : inoue_airline@yahoo.co.jp

あなたは 1 6 5 万 2 8 6 5 番目の読者です。（前号までにお届けした枚数です。）

皆さまこんにちは。今回は私が所属する会派「無所属県民会議」の活動を紹介します。ちなみに私は会派では、政策立案・議案調査を専門的に担う政務調査会長を務めております。

☑ 無所属県民会議 NEWS

ご挨拶

「無所属県民会議」は、7名の無所属議員で構成する会派です。わたしたちは政党の枠にとらわれず県民本位の視点に立ち、郷土・埼玉の持続的発展を志す「たたかう政策集団」です。全員が市・町議会議員の経験を有することから、積極果敢に県政改革を実行しています!

会派メンバーの紹介

鈴木 正人（すずき まさと）
志木市
警察危機管理防災委員
危機管理・大規模災害対策特別委員
図書室委員

醍醐 清（だいご きよし）
朝霞市
県土都市整備委員
自然再生・循環社会対策特別委員

岡　重夫（おか しげお）
白岡市・宮代町
企画財政委員
地方創生・行財政改革特別委員

井上　航（いのうえ わたる）
和光市
総務県民生活委員
経済・雇用対策特別委員

石川 忠義（いしかわ ただよし）
久喜市
議会運営委員
産業労働企業委員
少子・高齢福祉社会対策特別委員

並木 正年（なみき まさとし）
鴻巣市
環境農林委員
公社事業対策特別委員

大嶋 和浩（おおしま かずひろ）
熊谷市
文教委員
人材育成・文化・
スポーツ振興特別委員

無所属 県民会議 最新NEWS

県民NEWS①

12月定例会では、昨年9月定例会に私たち会派が紹介議員となり提案した**「政務活動費の支出を証明する領収書のインターネット公開を求める請願※」**が6度目の継続審査（先送り）となりました。注目すべきはこれまで継続審査に同調していた「無所属改革の会」も公開を求める立場に変わったことです。これで継続審査を主張しているのは自民党県議団だけとなりました。

県議会政活費
依然進まぬ透明化
不正受給1年 ネット公開 協議始まらず

元自民党県議が政活費の領収書を偽造し、不正受給が発覚してから1年。不祥事を機に県議会でも政活費を巡る情報公開の在り方が改めて問われたが、インターネット公開など透明性を高める取り組みが遅々として進んでいないのが実情。
全国では政活費の領収書などをネットで閲覧できる議会が増えている。県議会事務局

ネット公開を求める請願は、4定例会連続で継続審査になった。最大会派の自民が「ネット公開は政務活動費の信頼性を向上させるための一つの手法にすぎず、その他の手法も含めて議論すべき」と継続審査を主張しているためだ。
自民は政活費の使途について、団と各議員が不正をしないとの趣旨の誓約書を交わし

継続審査が続くことに県民会議の鈴木正人代表は「問題を先送りしているのでは」と述べ、「ネット公開など市町村議会では改革が広がっている中で、県議会は前に進んでいない」と指摘。公明の西山淳次団長も、「多くの人に見られることで意識の向上につながる。さらに透明性を高めていく必要がある」とネット公開の必要性を強調した。

▲2018年8月3日　埼玉新聞

「請願」…県民が県政についての要望事項等を議会で審査するよう求めること。請願を提出するには「紹介議員」となる県議が必要。

県民NEWS②

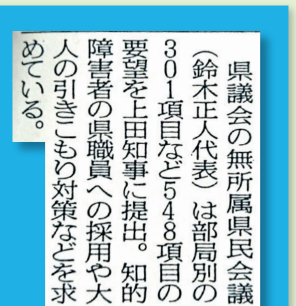
12月定例会では、批判の強まっていた妊婦加算について、自民党・公明党を除く4会派で**「妊婦加算の自己負担を解消するよう国へ意見書提出を求める請願」**を共同で提出しました。審査の結果、厚生労働省で正に制度の見直しを検討していることから、意見書の提出という手続きは行わないが、願意を考慮して「趣旨採択」となりました。

県民NEWS③

県民こそが主役の県政、そして県民幸福のための行政を願い、県政全般に関わる事項301項目、各地元要望247項目、合計548項目の予算要望書を提出しました。特に平成31年度予算にあたって**「教育への重点投資」**を求めました。

主な要望事項一例

- 公金納付のキャッシュレス化の導入
- 知的障害者の県庁職員への採用
- 県道における道路冠水対策の強化
- 障害者グループホーム建設費補助の創設
- 熊谷スポーツ文化公園の人工芝化
- 農業普及支援員の増員
- 浦和美園地区への大学付属病院の早期開設に向けた事業推進
- 生物多様性緑化推進マニュアルの作成　など



県議会の無所属県民会議（鈴木正人代表）は部局別の301項目など548項目の要望を上田知事に提出。知的障害者の県職員への採用や大人の引きこもり対策などを求めている。

要望書提出

時の課題にすばやく対応
要望書の提出

ACTION① 「ブロック塀の安全対策を求める要望書」提出

大阪北部地震で小学校のブロック塀が崩れ、児童1名が死亡した事故を受け、会派「無所属県民会議」では県立高校などの現地調査を行いました。その上で上田知事と教育長に対して**「学校施設及び県有施設におけるブロック塀等の安全対策を早急に進めることを求める要望書」**を提出しました。その後、県有施設や学校施設における対応は徐々に進み、上田知事が会長を務める「全国知事会」としても国に対し要望活動が行われました。

暑さ対策推進 知事に要望書

県議会の県民会議

県議会の県民会議（鈴木正人代表）は7月31日、県庁を訪れ、暑さ対策の推進を求める要望書を上田清司知事に提出した。

同28日に熊谷で国内最高気温を更新する41・1度を記録するなど猛暑が続き、県消防防災課によると、県内で同1日から29日までに熱中症の疑いで8～19人が救急搬送され、12人が死亡した。集計を開始した2008年以降の死者数としては、7～9月に19人がとなった10年に次いで2番目と多くなっている。

要望書では、熱中症予防の啓発や農産物・畜産物の高温障害対策、2020年の東京五輪・パラリンピックに向けて選手や来訪者への暑さ対策・県内における暑さの原因検証などのほか、上田知事が会長を務める全国知事会で、暑さ対策の推進を国などに要請するよう求めている。（丹羽良平）

県民会議の鈴木正人代表（中央右）が上田清司知事（同左）に要望書を手渡した7月31日午前、県庁

2018年8月1日
埼玉新聞

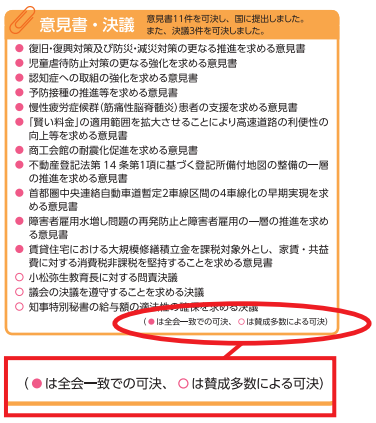
ACTION② この夏全国No.1の気温41.1℃を記録した埼玉だからこそ!「更なる暑さ対策を求める要望書」提出

この夏の気象庁が「災害」と称する暑さを受け、県民会議では「多様な分野における更なる暑さ対策の推進を求める要望書」を上田知事に提出しました。

県民目線の議会改革

実績1 わかりやすい県議会だより

この4年間を振り返ると賛否の分かれる議案・意見書・決議が増えてきました。同じ可決でも「全会一致」と、反対する会派もあった「賛成多数」での可決は大きく異なります。そこで「県議会だより」を見た際、賛否が分かれたどうか一目でわかるように紙面の変更を県民会議から提案・実現しました。



意見書・決議 意見書11件を可決し、国に提出しました。また、決議3件を可決しました。

- ● 復旧・復興対策及び防災・減災対策の更なる推進を求める意見書
- ● 児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書
- ● 認知症への取組の強化を求める意見書
- ● 予防接種の推進等を求める意見書
- ● 慢性疲労症候群（筋痛性脳脊髄炎）患者の支援を求める意見書
- ● 「賢い料金」の適用範囲を拡大させることにより高速道路の利便性の向上等を求める意見書
- ● 商工会館の耐震化促進を求める意見書
- ● 不動産登記法第14条第1項に基づく登記所備付地図の整備の一層の推進を求める意見書
- ● 首都圏中央連絡自動車道暫定2車線区間の4車線化の早期実現を求める意見書
- ● 障害者雇用水増し問題の再発防止と障害者雇用の一層の推進を求める意見書
- ● 賃貸住宅における大規模修繕積立金を課税対象外とし、家賃・共益費に対する消費税非課税を堅持することを求める意見書
- ○ 小松弥生教育長に対する問責決議
- ○ 議会の決議を遵守することを求める決議
- ○ 知事特別秘書の給与額の適正性等を求める決議

（●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決）

（●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決）

実績2 費用弁償削減条例を提出

議会に出席した際に支給される「費用弁償※」を交通費の実費に切り換える条例を提案。実現すれば年間3,900万円の経費削減に繋がりますが、自民党県議団らの反対により、現時点では成立には至っていません。

※自宅から県庁までの距離別で6,000円、8,100円、1万200円の3段階で支給

実績3 積極的な定数削減を提案

改選前に行われる「定数削減」の検討会では、どの会派よりも踏み込んだ「定数6減」を提案。自民・公明等が「現状維持」を主張したため、他の会派と協力し、本会議において「定数2」の条例案を提案しました。（自民党等の反対で否決）

実績4 県民の声に応え「請願」を提出

先に紹介した請願の他にも**「再生可能エネルギーの活用を増やすことを求める請願」「消費税増税中止を求める請願」**などの暮らしの安心・安全に繋がる請願や、議会改革関連では**「政務活動費の透明性を今任期中に一層向上させることを求める請願」「すべての請願を県議会ホームページに掲載することを求める請願」**の紹介議員となり、県民の声を県議会へと届けています。

実績5 会計帳簿の自主的公開

県議会改革が遅々として進まない中でも、自ら出来るところから取り組むのが私達の流儀です。政務活動費の会計帳簿の自主的公開も各議員のホームページで順次進めています。

プロジェクトチームも活発に活動中

議員立法に向けて、様々なプロジェクトチームを立ち上げ、調査・研究も進めてきました。今後もその成果を県政に活かします。

- 歩きスマホをなくす条例
- 長期欠席議員の議員報酬減額条例
- 埼玉県乾杯条例

貫く現場主義

私たちの活動フィールドは埼玉県全域です。すべての地域を最前線と考え、選出議員の有無に捉われず全県に責任をもって活動しています。議会開会中も議案に関わる現地調査を必ず行っています。

主な現地調査先

- 秩父高原牧場（東秩父村）
- 寄居林業事務所（寄居町）
- 埼玉県生活科学センター（川口市）
- 所沢航空記念公園（所沢市）
- 山西省友好記念館（小鹿野町）
- 救急電話相談センター（さいたま市）
- 保育士・保育所支援センター（さいたま市）
- 総合リハビリテーションセンター（上尾市）
- 中央児童相談所（上尾市）
- 埼玉県種苗センター（鴻巣市）
- 県立高等技術専門校中央校（上尾市）
- さいたま文学館（伊奈町）など

意見書 県民の声に耳を傾け 国への意見書を提案

議会としての意見や要望を国や関係省庁に提出する「意見書」の提出について、現在、自民党県議団が過半数を有していることで他会派の提案を聞き入れなくなりました。しかし、私たち会派は県民や国にとって必要な施策については引き下がることなく意見書の提出を求め続けています。

過去に提案した意見書（一部抜粋）

- ●地方議会議員の議員年金制度を復活しないよう求める意見書　●天然痘ウィルス等バイオテロ対策の強化を求める意見書
- ●航空機の運航トラブルの原因究明の徹底と整備点検の強化等を求める意見書
- ●ヒアリの侵略を阻止するため万全な対策を求める意見書　●有害鳥獣対策の一層の拡充を求める意見書
- ●核シェルターの早急な整備普及を求める意見書
- ●地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書　●高病原性鳥インフルエンザ対策の強化を求める意見書
- ●高齢者の加齢による自動車運転時の交通事故防止のための施策を進めることを求める意見書
- ●パチンコ・スロット・公営ギャンブル等ギャンブル依存症に対する具体的な対策を求める意見書
- ●台湾出身者の戸籍表記の早期是正を求める意見書　●公私混同を防止する政治資金規正法の改正を求める意見書
- ●「竹島の日」制定を求める意見書　●地方創生に係る政府関係機関の地方移転中止を求める意見書
- ●豪雨災害による被災者支援の充実を求める意見書　●治水対策の強化を求める意見書
- ●下水道施設の耐震化と長寿命化の推進を求める意見書　●警察官の増員と警察非常勤職員の拡充を求める意見書

現在の埼玉県議会において、政党のしがらみなく活動し、大きな会派にも臆することなく正論を発信し続けられる会派は私たちをおいて他にはありません。硬直した埼玉県議会を動かすのは私たちのような**無所属の力と県民の声**だと考えています。これからも「たたかう政策集団　無所属県民会議」を宜しくお願い致します。

たたかう政策集団